

《景観調査の対象となった主要な景観》

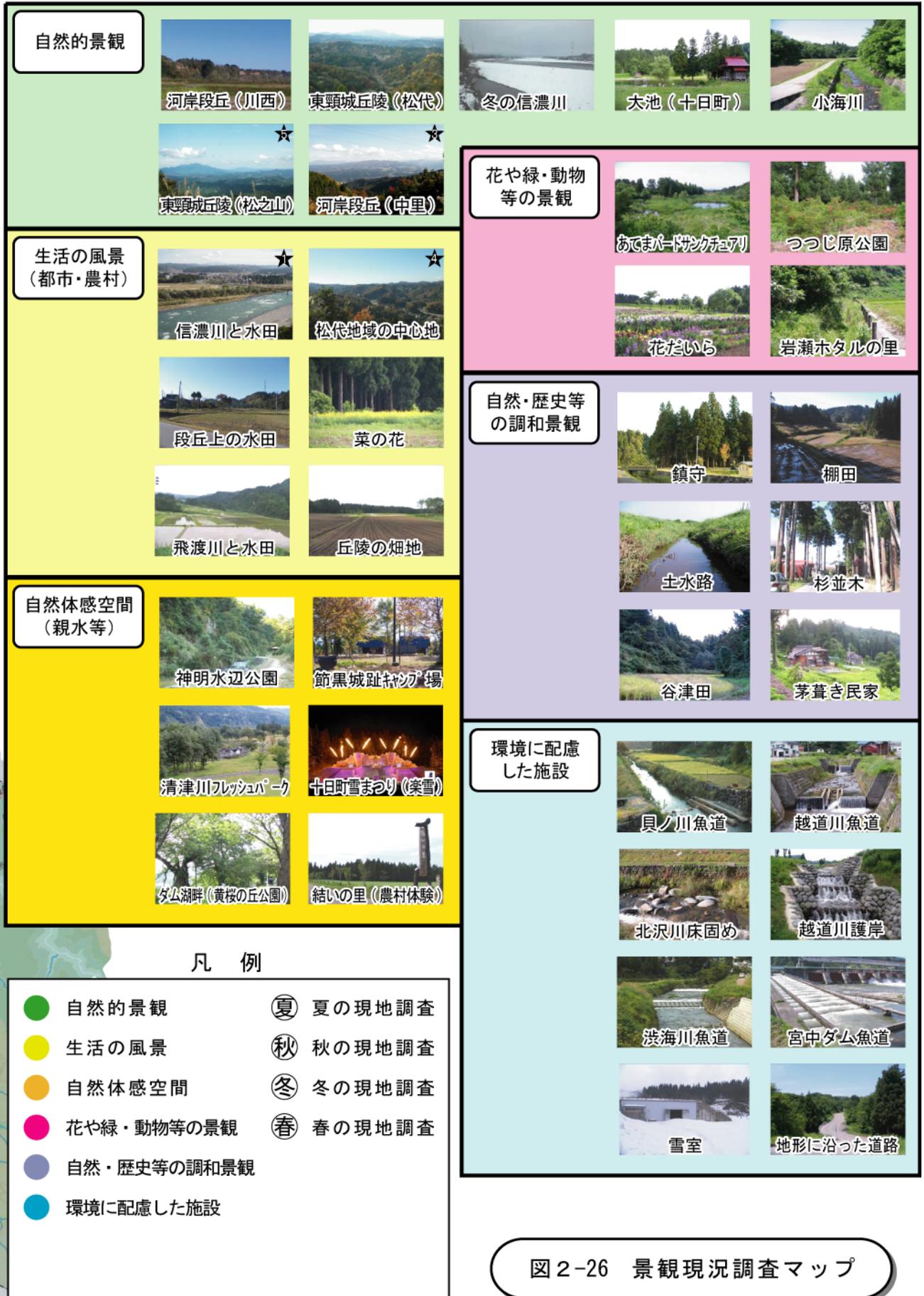
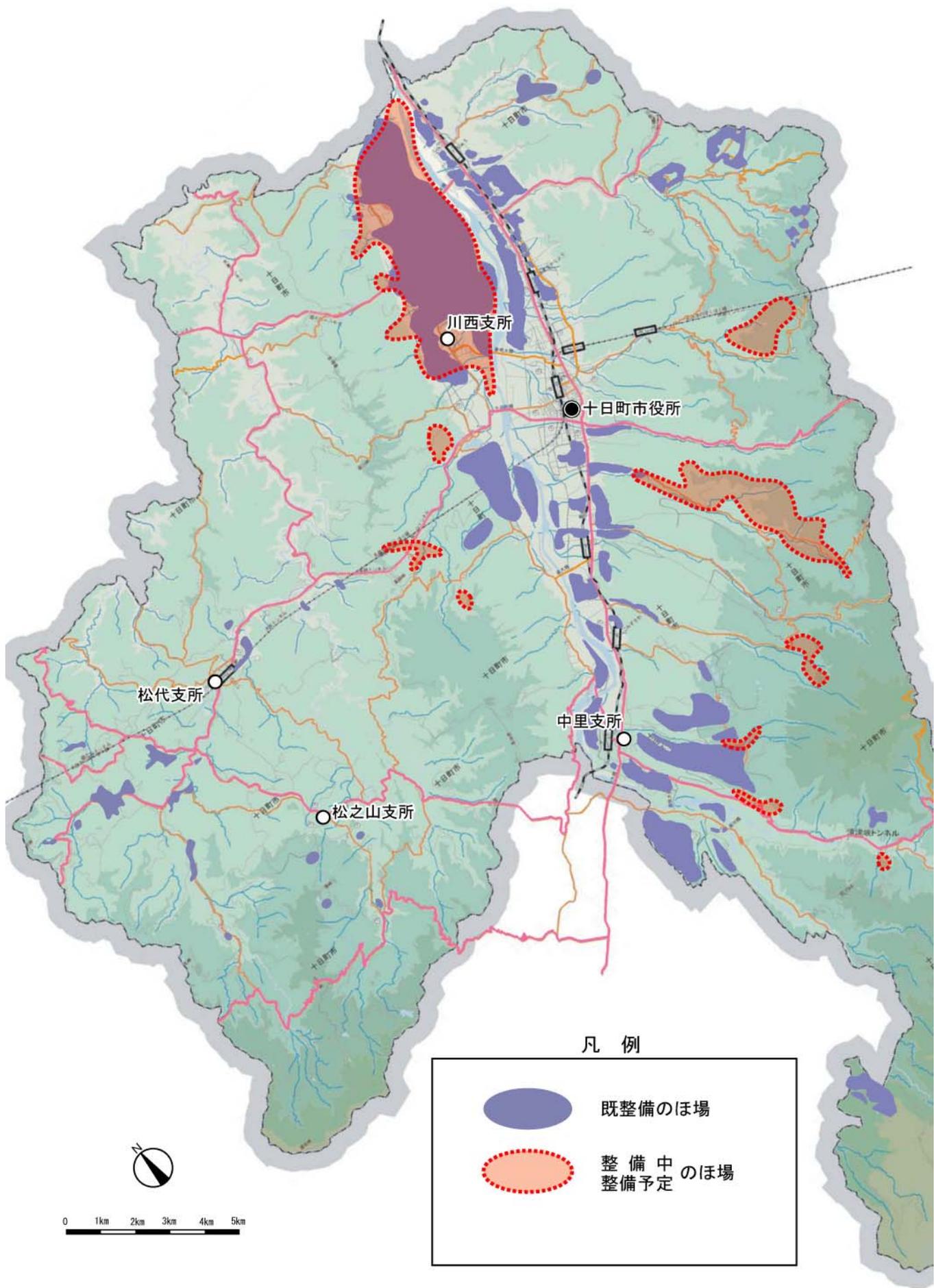


図2-26 景観現況調査マップ



《 ほ場整備事例 新水四箇村地区（経営体育成基盤整備事業） 》

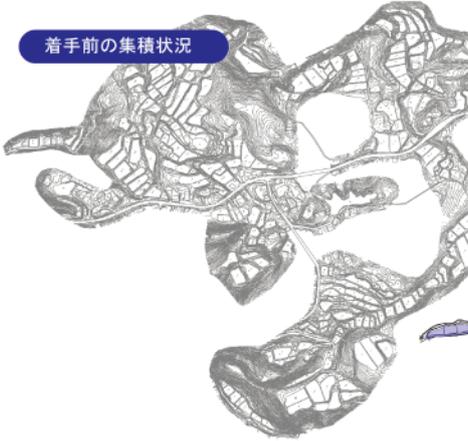
ほ場整備を契機とした集落の活性化 ～^{よんかそん}四箇村工区～

地区の紹介

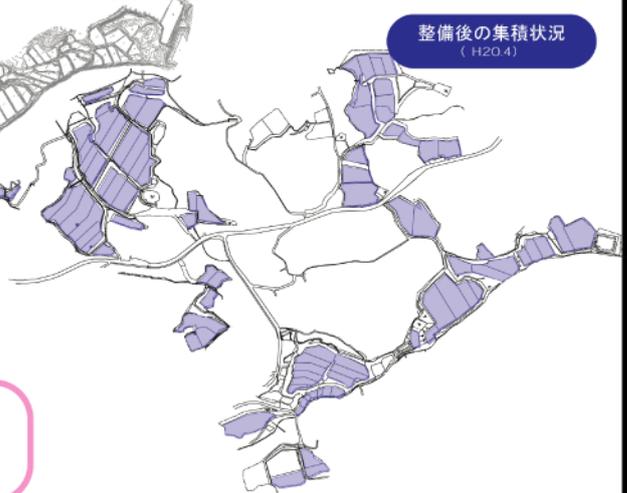
事業名：県営ほ場整備事業（担い手育成型）
 地区名：新水四箇村地区
 工期：H14～H21
 地形勾配：約1/15
 区画整理：45.0ha
 （四箇村工区 20.8ha、新水工区 24.2ha）
 気候：冬期間は4m近い積雪のある豪雪地帯



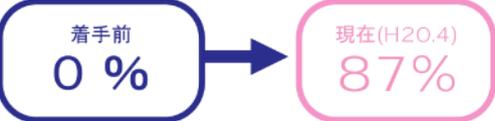
着手前の集積状況



整備後の集積状況
(H20.4)



担い手への集積状況



進む集積



●四箇村工区は地形勾配1/10前後の傾斜地で、ほ場整備前の平均面積は8aと小さな水田でした。
 ●ほ場整備によって大型農業機械による営農が可能となり、平成17年7月に四箇村生産組合を設立し、0%だった集積は現在87%まで進み、法人化に向けて現在取組中です。

～新水工区～



【ほ場整備着手前】



【ほ場整備完了後】

出展：十日町地域振興局農業振興部

図2-27 ほ場整備マップ

4. 環境評価

(1) 課題の整理

これまでの現況調査及び現地調査、住民意向把握のためのアンケート調査の結果を基に、自然環境・社会環境・生産環境に区分して課題の整理を行い、以下に示します。

現況調査・現地調査	
自然環境	<p>●気象 四季折々に季節感あふれる気候。全国有数の豪雪地帯となっています。</p> <p>●地形 東側には魚沼丘陵、西側には東頸城丘陵。中央部に信濃川が南北に流れ、十日町盆地とともに河岸段丘が形成されています。</p> <p>●土地利用 地目別面積では、山林やその他の占める割合が大きくなっています。</p> <p>●水環境 信濃川・清津川・渋海川をはじめ数多くの河川が流れています。水力発電による河川の減水や排水による水質汚濁が懸念されています。市では水質の調査や監視を行っています。 段丘地には池沼が数多く点在しており、古くから生活・農業・工業用水等に利用されるとともに、市民に身近な水辺空間として親しまれている場所もあります。</p> <p>●名水 新潟県の名水として「清津川」(中里地域小出地区内)と「深山の清水」松之山地域浦田)があります。</p> <p>●地下水 市では地下水の利用適正化に取り組み、一部で地下水の取水を規制するとともに雨水の地下水還元への取り組みが行われています。地下水の継続的な水質調査も行っています。</p> <p>●山林 林業の衰退で山林の荒廃が進んでいます。このため、山林が持つ水源かん養機能やさまざまな生物の育成基盤としての機能などの低下も懸念されています。また、山菜の乱獲や貴重植物の採取、ポイ捨てや不法投棄が一部で見受けられます。</p> <p>●植物 貴重な自然植生であるブナ林は、これまでの地域の開発やスギの植林などにより減少してしまいました。</p> <p>●貴重な植物群落(特定植物群落) 長安寺のブナ林、苗場山小松原の林や湿原植物群落</p> <p>●鳥獣被害 野生動物による農作物被害・人的被害について問題化しています。</p> <p>●魚類 信濃川では、水力発電による減水の影響の調査が行われており、魚類の生息に対する影響としては、すみ場の減少・水温上昇・遡上阻害などの複数の要因があることがわかってきました。</p> <p>●生息・生育環境 場所によっては、人為的な要因で生息・生育環境が悪化しています。</p> <p>●外来生物 外来生物が分布を広げています。</p> <p>●既存文献による生物種 哺乳類32種・鳥類168種・爬虫類9種・両生類16種・魚類43種・昆虫類約400種・底生動物約60種・植物約1,200種が記録されていました。</p> <p>●既存文献による貴重種 自然環境の指標ともなる貴重種が数多く記録されていました。</p> <p>●注目すべき地域資源 自然公園、自然環境保全地域、田代の七ツ釜、清津峡、枯木又龍王池、牛池の浮島、天水越のブナ原生林、巨木・名木など</p>

住民意向	課題の整理
<p>○地域の自慢 自然が豊か〔一般・中学生：共通回答〕 自然がきれい・景観が良い 〔一般・中学生：共通回答〕 水・空気が美味しい〔一般：共通回答〕 信濃川〔一般：共通回答〕 ブナ林〔中学生：共通回答〕</p>	<p>丘陵地・河川沿いなど多様な地勢に立地する自然環境・景観の保全</p> <p>雪や山・里から四季を感じるなど自然を大切にする感性を育み、意識を養う</p> <p>水質汚濁・過剰取水の防止など河川や池沼・地下水といった水資源の保全・利活用</p> <p>ホタルや魚などの身近な水辺の生き物とその生息環境の保護・保全</p> <p>花や緑と親しめる・水を蓄えるなどのブナ林をはじめとする森林の保全・利活用</p> <p>外来生物の分布拡大や人や農作物への鳥獣被害の対応</p> <p>自然公園などの良好な自然の保護・保全と利活用</p>
<p>○地域の将来像 まわりに自然が多く残っている地域〔一般：21%〕 〔中学生：33%〕</p>	
<p>○地域の自然で感じる事 森林や公園などに花や緑が多い〔一般：20%〕 〔中学生：33%〕 池や川に魚やカエルなどの水辺の生き物がある 〔一般：25%〕〔中学生：31%〕 自然が少なく残念に思う〔一般：17%〕 身近なところで野鳥を見ることができる〔一般：15%〕</p>	
<p>○大切にしたい自然・動植物 全ての自然・生き物〔中学生：共通回答〕 信濃川〔一般：共通回答〕 きれいな川〔一般：共通回答〕 ホタル〔一般・中学生：共通回答〕 ホタルのすめる環境〔一般・中学生：共通回答〕 魚〔中学生：共通回答〕 森林や木〔一般・中学生：共通回答〕 ブナ〔中学生：共通回答〕 哺乳類・昆虫類(カモシカ・ヨコヤマヒゲナガカミキリ) 〔中学生：共通回答〕</p>	
<p>○環境保全の取組 里山の手入れや川をきれいにするなど、生き物がすみやすい環境にもどす〔中学生：26%〕 森林・川や池などの自然はそのままにする 〔中学生：22%〕</p>	
<p>○関心のある環境問題 生き物の環境をもとにもどす 〔一般・中学生：共通回答〕 ホタルの減少・川をきれいにする 〔中学生：共通回答〕 森林伐採〔中学生：共通回答〕 山・山林のゴミの不法投棄・ポイ捨てへの対策 〔一般：共通回答〕</p>	
<p>※ 住民意向はアンケート結果の上位を記載</p>	

現況調査・現地調査

社会環境

●降雪

1年の3分の1以上が降積雪期間となり、この気象条件が、独特の生活文化の形成や産業などに大きく影響しています。

●人口の減少・過疎高齢化

平成7年からは国勢調査のたびに約4～5%減少しています。高齢化が進行しています。(中山間地高齢化集落が全集落の約1割)

●主要公共公益施設

十日町市街地、川西市街地、中里支所、松代支所、松之山支所の周辺に集中しています。

●交通

交通網は国道・主要地方道・一般県道により骨格が形成されています。鉄道は、JR飯山線とほくほく線が走っているほか、バス路線が運行されています。

●緑

市街地・住宅地においては公園や緑地・街路樹が少ない状況です。

●克雪・利雪

消雪パイプの設置のほか、流雪溝が整備され供用が開始されています。また、雪利用については雪冷熱エネルギーの利用などが行われています。

●地球温暖化

市では地球温暖化対策などの環境負荷を低減する取り組みを行っています。

●ごみの不法処理

不法投棄や不適切な焼却に対しては、適正処理を促し、啓発活動も強化していくことが課題となっています。

●リサイクル

ごみのリサイクル率は約18%程度となっています。また、川西有機センターが稼働しており、堆肥化によるごみの発生抑制、再資源化に貢献しています。

●新エネルギー

太陽光・太陽熱・農林業バイオマスなど、さまざまな新エネルギー・未利用エネルギーの活用が求められます。

●歴史的資源(文化財等)

星名家住宅、積翠荘、鏡ヶ池、岩見堂、笹山遺跡、神社・仏閣、城跡など

●景観調査

全体的な景観の雰囲気は自然、特に地形によって左右され、その場所で営まれている人の生活様式によっても変わってきます。

●多彩なまつり・イベントの例

十日町雪まつり、雪原カーニバル、越後まつだい冬の陣、十日町きものまつり、松之山温泉まつり、千年の森コンサート、かわにし自慢祭など

●主な観光施設の例

当間高原リゾートベルナティオ、越後妻有交流館、クロス10、千手温泉千年の湯、仙田体験交流館、芝峠温泉、松之山温泉、大巖寺高原など

※ 住民意向はアンケート結果の上位を記載

住民意向	課題の整理
<p>○地域の自慢 地域のまとまり〔一般:共通回答〕 静かなこと〔一般:共通回答〕 ベルナティオ〔一般:共通回答〕 東光寺〔中学生:共通回答〕 温泉〔一般・中学生:共通回答〕</p>	<p>少子高齢化・人口減少への対応と地域コミュニティの強化</p> <p>公園と緑・都市機能の充実による生活環境の快適化</p> <p>雪の利活用と克雪への工夫</p> <p>地球温暖化の防止やリサイクル・新エネルギー対策など環境への負荷低減</p> <p>環境共生型社会づくりに向けた普及・啓発活動や環境教育の充実</p> <p>環境美化や環境保全などの環境活動の拡大と参加の輪を広げる工夫</p> <p>豊かな自然・歴史に育まれた文化・伝統の保存・継承</p> <p>多様な地域資源の有効活用・効果的な活用</p>
<p>○住環境の満足の理由 まちに近く、自然もある〔一般:共通回答〕 不便だと感じない〔一般:共通回答〕 道路や歩道が整備されている〔一般:共通回答〕 冬季の除雪〔一般:共通回答〕 ○住環境の不満足の理由 道路が整備されていない・街灯や歩道が整備されていない〔一般:共通回答〕 公園がない・少ない〔一般:共通回答〕 消雪パイプ・流雪溝が整備されていない〔一般:共通回答〕 人口減少・過疎化〔一般:共通回答〕 お店が少ない・ない〔一般:共通回答〕</p>	
<p>○地域の将来像 仲間づくりや支え合いを大切にする地域〔一般:23%〕 〔中学生:14%〕 自然や昔ながらのまち並みなど美しい景観のある地域 〔一般:14%〕〔中学生:14%〕 文化、伝統を守り、大切にしていく地域〔一般:11%〕 〔中学生:14%〕</p>	
<p>○環境保全の取組 ゴミと資源を分別する・水や電気を大切に使う 〔中学生:29%〕 野外で遊ぶなど子どもの自然体験の機会を増やす 〔一般:27%〕 学校教育や社会教育で環境教育の時間を増やす 〔一般:16%〕 みんなで地域の環境についての話し合いや合意形成の場をつくる〔一般:11%〕 年配の方から昔の自然のことや生活の知恵などの話を聞く機会をつくる〔一般:11%〕 市街地に公園や街路樹などの花や緑をふやす 〔中学生:10%〕</p>	
<p>○環境活動への参加 友達と一緒にであれば参加したい〔中学生:46%〕 やりたい活動であれば参加したい〔中学生:29%〕 簡単な作業であれば参加したい〔一般:26%〕 〔中学生:12%〕 多くの人と知り合え、情報交換などができる活動に参加したい〔一般:21%〕 家族で参加できる活動に参加したい〔一般:15%〕 地域の魅力などを多くの人に知ってもらえる活動に参加したい〔一般:14%〕 自分の特技がいかにせる活動に参加したい〔一般:14%〕</p>	
<p>○関心のある環境問題 地球温暖化〔中学生:共通回答〕 次世代へ環境問題を先送りせず、恵まれた環境を残す 〔一般:共通回答〕</p>	

現況調査・現地調査

生産環境

●農業

米の名産地として知られており、農業粗生産額の7割以上を米が占めています。

農家数や経営耕地面積は年々減少しています。農業従事者の高齢化と後継者や担い手の確保が大きな課題となっています。

●生産基盤

平場でのほ場整備は概ね完了しているものの、中山間地域では棚田など生産条件の厳しい地域が多く、耕作放棄地も見受けられます。また、平場よりも担い手への農地の利用集積が進んでいません。

農地の特性を活かした農産物の生産が行われており、主要農業施設は信濃川沿いに分布し、中山間地では松代地域に立地しています。

●経営基盤

経営基盤の強化のため、経営の複合化を進めています。認定農業者、生産組織等による担い手の育成と、法人化による経営の安定化と少コスト化の早期実現が必要となっています。

●特産化の取組・新しい動き

雪下にんじんなど野菜の雪中保存や、雪室で農産物の保存や特産品の付加価値化を行って、有利販売にも役立っています。

新たな担い手として、構造改革特区により農業生産法人以外の株式会社の農業参入も可能になってきています。

●環境保全型農業

環境への影響や食品中の残留農薬の安全性などへの関心が高まっているため、一部の農業者を中心に、環境保全型農業の取り組みが広まりつつあります。

●地場産物

魚沼十日町産ブランド米、雪下にんじん、アスパラガス、スイートコーン、ミディトマト、うど、乾燥ぜんまい、豚肉、えのきたけ、エリンギなど

●地場産加工品・その他、伝統食・郷土食

そば、乾そば、地酒、ユリ、山菜加工品、しんこ餅、温泉饅頭(松之山)、玄米がゆ

●地産地消・地域循環

学校給食や食育との連携のほか、直売市等の情報発信も進んでいます。川西有機センターが稼働しており、生ゴミ等の堆肥化を行っています。

●農地

食糧生産の機能のみならず、水源かん養や景観保全といった公益的機能を有しています。

●田んぼの生き物

田んぼの生き物調査では多く生物が確認されており、貴重種も確認されています。生物によって、それぞれ生息・生育の条件が異なります。

●農村部の環境のネットワーク化の課題

生物の保全のためには、環境の質の状況・主要な人為的インパクト・地域の人達の環境の捉え方の現状把握などが課題となります。

●注目すべき地域資源

棚田、渋海川の瀬替え・まぶ(素堀の用水路トンネル)、小白倉集落等の農村集落、農村の伝統芸能・伝統行事・伝統技術

●農村集落

集落の人口が減少し、高齢化が進んでいます。伝統芸能・伝統行事・伝統技術は、保存・継承が危ぶまれています。

●農村体験

地域の特色、体験観光・農村体験施設、農村ならではのガイドやプログラムを活かしたグリーンツーリズムなどの活発化も重要と考えられます。

●地域活動の状況

地域住民の活動を支える地域活動の拠点となる施設が随所であり、地域おこし活動が行われています。

住民意向	課題の整理
<p>○地域の自慢 美味しいお米がよくとれる〔中学生：共通回答〕 水田が多い〔中学生：共通回答〕 棚田〔中学生：共通回答〕</p>	<p>農家と消費者の協力による地産地消・食育などの推進</p> <p>食の安全・安心への対応と環境保全型農業の拡大</p> <p>経営基盤の強化と農業の効率化・生産性の向上</p> <p>有利販売に向けた特産化への工夫・地域ブランドの確立</p> <p>洪水などを防ぎ生き物を育む等の農業・農地の多面的機能の向上</p> <p>棚田や伝統行事など農村ならではの景観・伝統の保全・保存</p> <p>後継者の確保・育成と新たな担い手参入の促進</p> <p>農村資源の有効活用と都市住民との交流の拡大</p> <p>安らぎのある暮らしと生活の快適化による農村の魅力の向上</p>
<p>○地域の将来像 農業を大切に、続けていく地域〔一般：23%〕 〔中学生：14%〕</p>	
<p>○地域の自然で感じる事 水田・水路にホタルや小魚などがよく見られる〔一般：14%〕</p>	
<p>○環境保全の取組 田植えや収穫などの子どもの農業体験の機会を増やす〔一般：16%〕</p>	
<p>○農業や農村の役割 食の身近さや食の安心を実感できる機能〔一般：25%〕 とりたての野菜をおいしく食べることや郷土料理をつくるなど「食」を大切にしています〔中学生：20%〕 水田がダムの役割を持ち、洪水や土砂災害を防ぐ機能〔一般：15%〕 水田は雨水をためられるので洪水や土砂くずれを防いでいます〔中学生：11%〕 水質の浄化や健全な土づくりによる有機物(肥料)の還元を促進する機能〔一般：14%〕 水をきれいにすることや堆肥を土に戻すことで土を良くすることに貢献しています〔中学生：12%〕 ホタル・ドジョウやカエルなどの生き物を育む機能〔一般：13%〕 ホタル・ドジョウやカエルなど多くの生き物が水田にいます〔中学生：25%〕 美しい自然景観や農村景観をつくりだす機能〔一般：15%〕 地域の人が集まるお祭りや行事などが多く、にぎわいをつくっています〔中学生：17%〕</p>	
<p>○今後必要な取組 地元で採れた農産物を地元で消費する「地産地消」の推進〔一般：18%〕 経営安定化など農業の魅力を高め、担い手を確保していく〔一般：15%〕 農薬や化学肥料を減らす、或いは使わない安全安心な農業への取り組み〔13%〕 農産物や加工品の特産品開発などの地域ブランドの確立〔一般：11%〕 直売所を増やすなど消費者と生産者との直接的な交流の推進〔11%〕</p>	
<p>○関心のある環境問題 生ゴミの堆肥化を継続する〔一般：共通回答〕 ※ 住民意向はアンケート結果の上位を記載</p>	

(2) 環境評価

これまでに整理した課題は、今後の環境保全についてどのように対応していくかの基礎となります。環境評価は、それらの課題を解決していくにはどのような手法が望ましいか、その目安を設定するものです。環境評価の区分となる「保存」・「復元」・「改善」は以下のように定義されます。

環境評価を環境区分別に次ページ以降に示します。

環境評価の各区分の定義

保 存	このままの状態を保存・保護・継続することなどの概念が含まれる事項
復 元	かつての状態に復元・回復・再生することなどの概念が含まれる事項
改 善	より良い状態へ改善・修正・転換することなどの概念が含まれる事項

	課 題	環境評価		
		保 存	復 元	改 善
自然環境	丘陵地・河川沿いなど多様な地勢に立地する自然環境・景観の保全	○		
	雪や山・里から四季を感じるなど自然を大切にする感性を育み、意識を養う	○		○
	水質汚濁・過剰取水の防止など河川や池沼・地下水といった水資源の保全・利活用	○		○
	ホタルや魚などの身近な水辺の生き物とその生息環境の保護・保全	○	○	
	花や緑と親しめる・水を蓄えるなどのブナ林をはじめとする森林の保全・利活用	○	○	
	外来生物の分布拡大や人や農作物への鳥獣被害の対応			○
	自然公園などの良好な自然の保護・保全と利活用	○		○

	課 題	環境評価		
		保 存	復 元	改 善
社会環境	少子高齢化・人口減少への対応と地域コミュニティの強化			○
	公園と緑・都市機能の充実による生活環境の快適化		○	○
	雪の利活用と克雪への工夫			○
	地球温暖化の防止やリサイクル・新エネルギー対策など環境への負荷低減			○
	環境共生型社会づくりに向けた普及・啓発活動や環境教育の充実			○
	環境美化や環境保全などの環境活動の拡大と参加の輪を広げる工夫	○		○
	豊かな自然・歴史に育まれた文化・伝統の保存・継承	○	○	
	多様な地域資源の有効活用・効果的な活用	○		○

	課 題	環境評価		
		保 存	復 元	改 善
生産環境	農家と消費者の協力による地産地消・食育などの推進		○	○
	食の安全・安心への対応と環境保全型農業の拡大		○	○
	経営基盤の強化と農業の効率化・生産性の向上			○
	有利販売に向けた特産化への工夫・地域ブランドの確立			○
	洪水などを防ぎ生き物を育む等の農業・農地の多面的機能の向上		○	○
	棚田や伝統行事など農村ならではの景観・伝統の保全・保存	○	○	
	後継者の確保・育成と新たな担い手参入の促進			○
	農村資源の有効活用と都市住民との交流の拡大	○		○
	安らぎのある暮らしと生活の快適化による農村の魅力の向上			○